

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(779)1110
担当部課名	環境事業部	北清掃工場	所	管理 係
事務事業名	施設維持補修費 粗大ごみ処理施設		事業コード	21220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	3
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	年度

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関連法令、大気汚染防止法他の環境基本法、労働安全衛生法

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
各設備の機能低下の防止、寿命の延命化及び法規制、社会情勢の変化や新規技術に対応した改良等を行ないながら、施設の稼動状態を長期にわたり安定的に維持管理し、安全で効率的なごみ処理ができるようにすることを目的として施設維持補修を実施している。そのために、年次計画をたてて計画的に行なうことにより、効率的、経済的に維持補修を実施する。	工場 対象数 1
(3) 平成13年度事業の内容 計画修繕 7件中5件実施	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度～ 年度

4 評価指標

指標名	計画修繕実施率
指標式	計画修繕実施件数/計画修繕予定件数 × 100
指標設定の意図	計画的に維持補修を実施する

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	40	60	a 71	b 70	70
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	14,000	16,000	16,000	18,000
	人員・時間数	2人	2人	2人	2人
	人件費	16,840	16,840	16,840	16,840
	その他経費				
	合計	30,840	32,840	32,840	34,840
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 102.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{71.4}{70.0} \times 100 = 102.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	できる限り計画的に修繕を実施することが目標であるが、13年度は7件中5件が計画修繕で実施できた。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	粗大ごみの円滑な破碎処理を行なうため、効率的な施設の運営に努め、今後粗大ごみの量が増加していく状況に対応していく。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	出来る限り計画的に修繕を行なうことにより、経済性、効率性を高めている。ただ、突発的な修繕の対応で、計画的に修繕できないことがある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	維持補修の対象は、広範で多岐にわたっており、また日常のメンテナンス等により延命化をしながら、コストダウンを図るなど柔軟な対応が要求されるため、直営でなければ実施できない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	粗大ごみを円滑に処理しているので、市民の満足度は高いと思われる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	粗大ごみを円滑に処理し、また粗大ごみの中からアルミや鉄くずを分別し、資源化を図るなど、重要な事業である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 現状の施設及び設備で最大限の成果をあげるべく、現在の水準を維持していくことが必要である。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 各種設備の延命化をできるだけ図り、コストがかからないよう工夫しながら維持補修を実施しているが、今の状態を長く続けることは、困難であり事業の拡大が必要である。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	粗大ごみの円滑な破碎処理を行なうため、日常のメンテナンス等により延命化を図り、できる限り計画的に修繕を行なうなど、効率的な施設の運営に努めている。また、粗大ごみの中から、アルミや鉄くずを分別し、資源化を図るなど、重要な事業である。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--